



左から 福形 泰斗・畚野 由侑規・田輪 夢人・中西 祥也・橋本 実・尾家 幸樹・岡本 凌
上西 沙季・大谷 紗世・阪田 早紀・中田 千夏・中本 亞佑・浜田 麻愛・林 沙保・堀畑 弥希 (敬称略)

公民館だより

高野町中央公民館
☎ 56-2076
高野町教育委員会
☎ 56-3050



司 会…畚野 由侑規
成人の誓い…田輪 夢人

実行委員…畚野 由侑規、
阪田 早紀、田輪 夢人、
中西 祥也、中本 亞佑

また、自己紹介では、一人ひとりがマイクを持ち、家族や先生方そして見守ってくださった地域の方々への感謝の想いや、将来の夢について語ってくれました。

新成人を代表し、田輪夢人さんが、「生まれ、育ち、遊び、学んだ高野町を魅力ある町にすることそして後世に引き継いでいく。また一人の人間として日々成長し、個々の夢や目標を叶えていけるような自己実現の力を持った人間になることを誓う」と力強く述べました。

今年の成人式も新成人らが企画・運営を行う実行委員形式で行われ、式典の進行役として畚野 由侑規さんが司会を務めました。

去る、1月8日(日)高野山小学校体育館において平成29年成人式が行われました。本年の新成人は25名(男子16名、女子9名)で、成人式には15名(男子7名、女子8名)が出席し、人生の大きな節目を迎えました。



第16回

和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

2月19日(日)
午前11時スタート

本年も、紀三井寺公園陸上競技場から和歌山県庁前までの21.1km(10区間)をタスキをつなぐ「第16回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会」が開催されます。

今年は、総勢18名で、厳しい寒さの中、少しでも上の順位を目指し一生懸命練習に取り組んでいます。高野町の代表として、タスキをつなぎ走る子どもたちに、町民皆様の熱い声援をお願いいたします。

高野町ジュニア駅伝 チームメンバー

高野山小学校	5年生	相馬 康佑	高野山中学校	1年生	植木 真弘
	5年生	下 由依		1年生	石堂 美優
	5年生	高井 梨音		1年生	林 ひな
	5年生	土生川 真子		2年生	相馬 啓佑
	5年生	林 まな		2年生	眞野 貴気
	6年生	工藤 龍源		2年生	三谷 康世
花坂小学校	6年生	中尾 太郎		2年生	上田 和凜
	6年生	葉狩 風太		3年生	林 主鷹
				3年生	林 大毅
				3年生	大森 奏子

今年の目標



花坂小学校 5 年 中尾 甚哉

ぼくの今年の目標は、三つあります。

一つ目は、校内マラソン大会でよい成績を出すことです。理由は、走るとすぐにつかれてしまうからです。よい成績を出すために同じペースで走っていきたいです。

二つ目は、水泳で 15 分間に 600 m 泳ぐことです。理由は、水泳で長いきょりを泳ぐ練習をすると体力がつくからです。それに、海に遊びに行ってもあまり泳げなかったら楽しくないからです。あまり練習できないので、1 回 1 回の練習を大切にしていきたいです。

三つ目は、奈良智辯の入試に合格することです。そのために、今は塾に行っています。塾に行くのは大変だけど、合格したいのでがんばっています。算数で計算ミスをすることがあるので、しないようにしています。もし合格できたら、中学校のテストで一度でもいいので、100 点をとってみたいです。

これらの目標を、一つでも多く達成していきたいです。

私の将来の夢



高野山小学校 5 年 佐々木 菜那

私は将来、保育士になりたいと思います。

その理由は、私は小さい子が好きで、何かを作ったり、歌ったりするのも好きだからです。

そのために私は、ピアノを習って、保育児といっしょに歌えるようになりたいと思います。

私は最近になって、知り合いの小さな子たちと遊ぶときにどんな事をしたら喜ぶのか、どんな言い方をしたら、ちゃんと言うことを聞いてくれるのかを考えたりするのも一つの楽しみだと感じ始めました。

なので、これからも、こういうことを心がけながら、この夢に近づいていきたいと思います。

今年の目標



高野山小学校 5 年 相馬 康佑

ぼくの今年の目標は、低学年にやさしくすることです。

その理由は、最高学年になり、年下が多くなるからです。

ぼくは、高野山少年野球クラブに所属しています。新しい 1 年生が入部してきたら、副キャプテンとして、ボールの投げ方や取り方など、野球の楽しさをたくさん教えてあげたいです。

学校では、お楽しみ会などを開いて遊んだりして共通の輪を広めていこうと思います。

これからの目標



高野山小学校 6 年 田島 歩花

私のこれからの目標は、勉強を今まで以上にがんばることです。

なぜかという、中学生になると勉強がさらに難しくなるからです。私は特に算数と社会が苦手なので、これからがんばっていきたいです。

そのために、分からないところや自分が苦手だなと思うところは自主勉でやったり、先生やお母さんとお父さんに聞いたりしようと思います。

でも、苦手な算数と社会だけがんばるのではなく、理科や得意な国語も力を伸ばしてがんばりたいです。

また、勉強だけでなく、中学生になったらバレー部に入部するつもりなので、クラブもがんばりたいと思います。

これからの目標



高野山小学校 6 年 柘植 まやな

私の将来の夢は、音楽関係の仕事（歌手）です。

理由は、音楽が好きだからです。

音楽関係の仕事（歌手）をやりたいと思ったきっかけは、休みの日にパソコンをさわっていたら、「夢花火・歌ってみた」という動画が投稿されていました。私は、きれいな題名だなと思いながら、その動画を見ました。私はその動画を見て、「こんな風に歌えたらいいな」と思いました。

そのあとに、歌っている人が曲を作っていることが分かりました。私は、ますます曲を作って歌いたいと思いました。

そのために、今やっている楽器がもっとうまくなって、歌ももっとうまくなりたいです。

将来の夢



花坂小学校 5 年 寒川 楓

私は、将来、幼稚園の栄養士さんになりたいです。

理由は、料理を作るのが大好きだし、小さい子も大好きだからです。なぜ料理が好きになったかというと、お母さんのお手伝いをしていて、家族に「おいしい。」と言ってもらえてすごくうれしかったからです。小さい子がなぜ好きかというと、私のお母さんが幼稚園の先生で、子どものお話をよくしてくれるからです。

これらのことがきっかけで、幼稚園の栄養士さんになりたいと思いました。栄養士さんになるには、算数も必要なので勉強をがんばりたいです。また、幼稚園の子に「おいしい。」と言ってもらえるように、もっともっとお料理を教えてもらってがんばりたいです。

何事もがんばること

高野山小学校5年 林 まな



今年の四月から、小学校の最高学年です。最高学年は、小学校の中で一番しっかりしないといけないのでがんばりたいと思います。

そして、私の現在の将来の夢は、保育士になることです。私が保育士になろうとし

たきっかけは、私には妹がいて、妹が生まれたときにすごうれしくて『かわいいな』と思ったし、お世話をするのが、とても楽しかったからです。それに、みんなの役に立つことが大好きだから、私は保育士になりたいという夢をもっています。

私の今の夢は保育士だけれど、この先にいろんなことを経験して、夢が変わるかもしれません。もし、夢が変わってもその夢を追っていきたいと思います。最高学年の6年として、そして、夢をかなえるため、何事にもあきらめないで、全力で追いかけてがんばっていききたいと思います。

将来の夢

高野山小学校5年 花谷 明誠



ぼくの将来の夢は、医者（消化器外科）になることです。

医者になりたいと思ったきっかけは、お父さんが医者で、お父さんの事がこよく見えたからです。でも、ぼくは医者という目標をもつ前は、コックさんになるという夢をもっていました。その頃、病院にきた患者さん達から『お

医者さん継がなあかなあ』とよく言われました。お母さんは、『自分の好きな仕事をすればいいよ』と言ってくれていました。けれど、ぼくは、特に次のような理由で医者になろうと決意しました。

それは、ぼくは医者の中でも、消化器外科医になりたいのです。なぜなら『がん』を取り除きたいからです。今、『がん』はとても怖い病なので『がん』になった人やその家族の不安をやわらげ、最終的に喜びに変えられるような医者になりたいです。

私の将来の夢

高野山小学校5年 下 由依



私の将来の夢は、ダンスの先生です。

将来、自分が住んでいるところで、子ども達にダンスを教えることが私の夢です。その夢をかなえるために私は、五才ぐらいからダンスを習っています。

小さい頃『私は何になりたいんだろう?』

となやんでいました。でも、だんだん、ダンスをしていて、小学生になってやっと自分の夢が分かったのです。『私の夢は、ダンスの先生になることだ。』自分の夢が見つかって、それからダンスに熱中するようになりました。

中学生、高校生になると、部活があるので、このままダンスを続けていくのは難しいですが、毎日少しでもダンスの練習をしていて夢に向かっていきたいと思っています。

これからもこの夢をもって、将来子どもたちにダンスを教えられるようがんばります。

将来の夢

高野山小学校5年 木下 雄誠



ぼくは、料理人になりたいです。

自分のそうぞうしたものを作れます。

その人その人によって出来上がるものがちがった料理になります。

ちがう仕事でも、こういう『自分で考える』という仕事はたくさんあると思います。

夢によって、むずかしさ、自分らしさが出たりすると思います。

夢は、自分の人生を大きく変えるものだと思います。たとえ、同じ夢でも、生まれてくるところがちがったりして、人とのかわり方もちがったりして、少しずつちがってくると思います。

私の夢

高野山小学校5年 高井 梨音



私の将来の夢は、子どもの洋服会社をつくることです。理由は、絵を描くのが好きで、その中でも、服のデザインをすることが好きだからです。

もう一つ理由があって、もし子どもができたなら、大好きなことをさせてあげたいからです。

小さい頃から、将来の夢は何回か変わってきましたが、この夢は『変わらない』というか、『変わりたくない』です。

そのために、ふだんの勉強や、会社関係の勉強をがんばって、社員の人から信頼されるような人になり、いい会社をつくりあげたいです。

将来の夢

高野山小学校5年 石堂 優也



ぼくの将来の夢は、栄養士です。

栄養士になって、みんなにおいしいものを食べてもらいたいのです。

栄養士として、いっぱい『栄養のあるごはん』を作りたいです。また、食べ物についていろんなことを学びたいです。

ぼくは、こういう理由で栄養士になりたいわけですが、ただ作るだけではなく、何を作るかをよく考える人になりたいのです。これからがんばっていききたいです。

今年がんばること

高野山小学校5年 林 みこと



私の目標は、授業をいやがらず、きちんとするということです。

なぜこの目標にしたかということ、たまに『いやだなあ』と思うことがあるからです。

なので、これからは、そういう気持ちをなくして、がんばりたいと思います。

私は、この目標をあきらめずに、一生けん命がんばりたいです。もし、あきらめてしまっても、この決意をよく思い出して、またがんばりたいと思います。

もし少したって目標が変わるとしても、変わるまでは、この目標でがんばりたいと思います。

大人のサンわく学実施報告 ～弘法大師ゆかりの地を訪ねて in 高野山～

8 月 19 日（金）、今年度は地元高野山で開催しました。当日、残暑も厳しく徒歩での移動でしたが 14 名の方が参加しました。重要文化財の徳川家霊台や徳川総家菩提寺蓮花院の秘仏「いろは大師座像」を拝観し精進料理を頂きました。午後からは、霊宝館の「高野山大宝蔵展」を見学し国宝の「仏涅槃図」など多くの国宝にふれました。高野山大学名誉教授 山陰先生のユーモアに溢れたそして解り易く説明をして頂き、以外に知らない地元高野山を知ることが出来大変有意義なそして楽しい研修となりました。



【文化奨励賞】 高野山婦人会 会長 平田 静 様
「文化的な行事の実施及び協力を通して、
地域文化の発展に貢献」

今年度のスローガン 誇るべき 世界遺産の街 高野山 『手をつなぎ 親睦・研修・ボランティアで 楽しい婦人会』

高野山婦人会は、大正 8 年発足以来、今年で 97 周年を迎えています。この 97 年間に 70 名の会長にバトンタッチされ、今日に至っています。

「高野山婦人会の歌」の 3 番の歌詞に
「ま^さちの栄を ^ねがいつ ^おみ^なの集い ^いやかた^く

花も嵐も のり越えて ^な七十路^そを 杉の木のごとく」
とありますが、まさに七十路を超えた九十年余りの長きにわたり、活動を継続されてきた先人及び昨今の役員・会員の方々の心意気に感服する思いです。

過去 60 周年には下記のように盛大に記念式典が行われています。

高野山婦人会60周年

【昭和54年9月10日産経新聞の記事から】

高野山婦人会（530 人）は、10 日午前 10 時から高野山中央公民館で 60 周年記念式を行った。

式には仮谷知事の千代夫人や郡連合婦人会長、会員ら 250 人が参加、徳富義孝町長から歴代会長ら 27 人に記念品が贈られ、功労のメダルが首にかけられた。このあと高野山婦人会々長は故人となった 5 人の会長、3 人の副会長の写真の飾られた前で「大正 8 年に、故小佐田良さんが会長になられたあと、60 年間、27 人の会長にバトンタッチされてきた。愛国婦人会、国防婦人会といった時代もあったが、その記録をひもとくと、みんなの懸命の努力がよくわかる」と、昔をしのんだ。

このあと会員らのアトラクションに移り、省エネでみんなが古ガサを使つてつくった花笠をかぶり、花笠音頭を踊って 60 周年を祝った。

【高野山婦人会の主な活動(近年)】

- 文化の日に高野山婦人会主催の「ミニ文化祭」を行ったり、手作り作品等を出品したりして、文化の活性化や発展を図る。
- 高野山小学校、高野山中学校、高野山子ども園の入学式と卒業式にお祝いメッセージを送り児童生徒をお祝い。
- 高野山小学校、高野山中学校の卒業生に図書券を贈り読書を奨励。
- 「夏の子どもを守る運動」（合同夜間街頭補導）で青少年健全育成に協力。
- 春、夏、秋、冬の交通安全運動街頭啓発活動に参加。
- 一汗運動で清掃作業を行い、町及び環境の美化に尽力。
- 青葉祭りに出仕し、参加者にジュースの接待等。
- 南山苑の夏祭りに協力し祭を支援したり、慰問を行う。
- ソーデーマーチでは豚汁作りで参加者を接待し、好評を得て行事の充実、発展に貢献。
- 文化的ないろいろな講習会（手作り作品、生け花等）を開催して研修、また各種講演会（福祉教育、健康づくり等）に参加。
- 研修バスツアーで、文化的な見聞を広めると共に親睦を図る。
- 和歌山国体ではイベント（3B 体操）会場で飲み物の接待。
- 会長が、高野町の種々の会議や委員会等に出席。(昨年は 18 回)

第41回 文化表彰式

平成 28 年 11 月 3 日の「文化の日」に文化表彰式が中央公民館で行われ、受賞者に高野町文化協会（徳富義明会長）より賞状並びに記念品が授与されました。

【文化賞】 金剛流御詠歌 高野山金剛流八葉本部
代表 宮崎 佳子様
「御詠歌の普及・育成と伝統文化の伝承」

【金剛流御詠歌について】

詠歌とは神仏前奉歌に適するような 五、七、五、七、七 の三十一文字の和歌に一定の旋律（節・曲）をつけて詠唱するもので和讃は、その歌詞が七・五調又は自由歌形式になっているものを、通常この詠歌、和讃を総称してご詠歌と申します。

金剛流御詠歌とは、金剛界曼荼羅又は、南無大師遍照金剛のご宝号から生まれました。元々今のように情報が発達していなかったり、娯楽が無かった昔は遍路巡礼が盛んでしたが現代のように交通手段がないので長期間の巡礼道中の楽しみとして歌われたのが巡礼歌です。その巡礼歌からいろいろな節が生まれました。そして大正十五年四月に金剛講総本部が高野山大師協会に設置され、公認の金剛流詠歌が誕生いたしました。

金剛流詠歌は単なるのだ自慢、声自慢の歌ではなく深い信心から詠歌を御仏様に奉納すると言う事です。ですから金剛流では詠歌を歌うとは言いません、お唱えするといいます。

その古い歴史によって高野山八葉本部も、大正十五年夏 総本部附教師として正教師になられました。高野山報恩院 山口耕俊僧正様が初代総監として、昭和二十二年五月二十八日 八葉連合支部として発足いたしました。そして現代は八葉本部として沢山の講員によって山内、山外に御詠歌普及、及び種々の宗教的行事や式典に奉詠参加、奉仕に努めております。



また、昭和 61 年度の高野山婦人会のスローガンは、
☆わたしたちは自己研修につとめ、青少年健全育成に全力をあげましょう。
☆わたしたちは差別のないより明るい社会をめざして手をつなぎましょう。
☆婦人会員の輪をより広くひろげましょう。
となっています。

60 周年の新聞記事から、当時は 500 名あまりの会員数であったようですが、現在は時代の変遷や会員の高齢化、人口の減少などにより著しい会員の減少がみられ、会の存続が難しく思われるほどです。ですが、地域に貢献し、婦人間のつながりを持ち親睦を深めることができ、共に研修の機会を持てる伝統ある高野山婦人会を途絶えさせずに何とか存続させたい思いで、少人数にはなっていますが、

「高野山婦人会の歌」の 4 番の

「心豊かに 手を取りて 美^うわしのまち 守りゆく 紀州高野 婦人会 大空高く はばたこう」

という歌詞のようにできればと活動を続けています。
(70 周年記念式典も行われています。また 80 周年記念では、浜村淳さんを招いています。)



昭和 61 年度 高野山婦人会総



【功績内容】

各行事での奉詠を通して、御詠歌の普及・育成と発展に尽力され、高野町伝統文化の伝承に貢献

- 奉詠寒行で各戸を巡り、浄財の一部を社会福祉に寄贈
- 青葉祭り奉讃行列において誕生和讃を奉詠
- 各戸お通夜での供養奉詠
- 種々の宗教的行事や式典において出仕奉詠
 - ・正御影供（奥ノ院）で奉詠
 - ・御建夜の万燈万華会（金堂）で奉詠
 - ・戦没者追悼法会（金堂・ビルマ宝塔）で奉詠
 - ・嶽の弁財天大祭で奉詠
 - ・四月二十一日～五月四日 奥の院で奉詠、浄財を本山に寄贈
- 社会福祉大会において奉詠
- 十一月三日 高野山錦秋大伽藍お練り法会で奉詠



*平成31年(2019年)には、高野山婦人会100周年記念を行う予定です

高野山婦人会の歌

- 一 蓮八葉の 峯々に 安藤昭壽 作曲
高野四郎は こだまする 作詞
あなた わたしも いくとせか
すこしたまちよ 高野山
- 二 聖の教え 伝え来て
千年の今も 変わりなく
世の人々が 集いくる
誇りも高き 我がまちよ
- 三 まちの栄を ねがいつ、
女の集い いやかた^く
花も嵐も のり越えて
七十路を 杉の木の如く
- 四 心豊かに 手を取りて
美^うわしのまち 守りゆく
紀州高野 婦人会
大空高く はばたこう



高野町中央公民館長
角濱 正和

新年明けまして
おめでとうございます

明けましておめでとうござい
ます。

凛とした寒さの中、皆様にお
かれましては、新年をお迎えに
なれたこととお喜び申し上げ
ます。

近年、少子化・高齢化の進展、
都市部への人口集中や過疎化、
個人の価値観やライフスタイル
の多様化などにより、地域の繋
がりの希薄化が進み、地域住民
間での親しい付き合いや助け合
いなど、人々が相互に支え合う
機能が失われつつあります。
社会が人を育み、人が社会を
つくる好循環システムの構築が
強調されています。

公民館が人と人、人と地域を
結ぶコーディネーターとしての
役割を担い、それぞれの地域の
ニーズに合った公民館活動の展
開が望まれるところでありま
す。皆様との協働を願い、活力
あるコミュニティと魅力ある街
づくりを目指したいと思いま
す。

『いたずらに過ごす
月日の多けれど
道を求める時ぞ少なき』
本年もどうかよろしくお願
い申し上げます。

